



# eラーニングの動向

2003.8.27  
(株) A2A研究所  
田代 務  
www.a2a.jp

*any to any communications*

## e-Japan重点計画—2003の構成

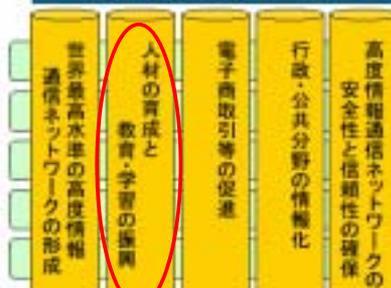
政府IT戦略本部HPより

◎具体的施策については、担当府省、実施年限を明記

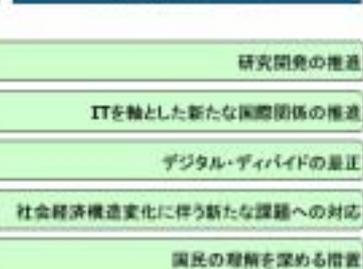
### IT活用促進のための先導的取り組み (97施策)



### 重点政策5分野 (210施策)



### 横断的課題 (59施策)



その手段としてeラーニングが注目されている。

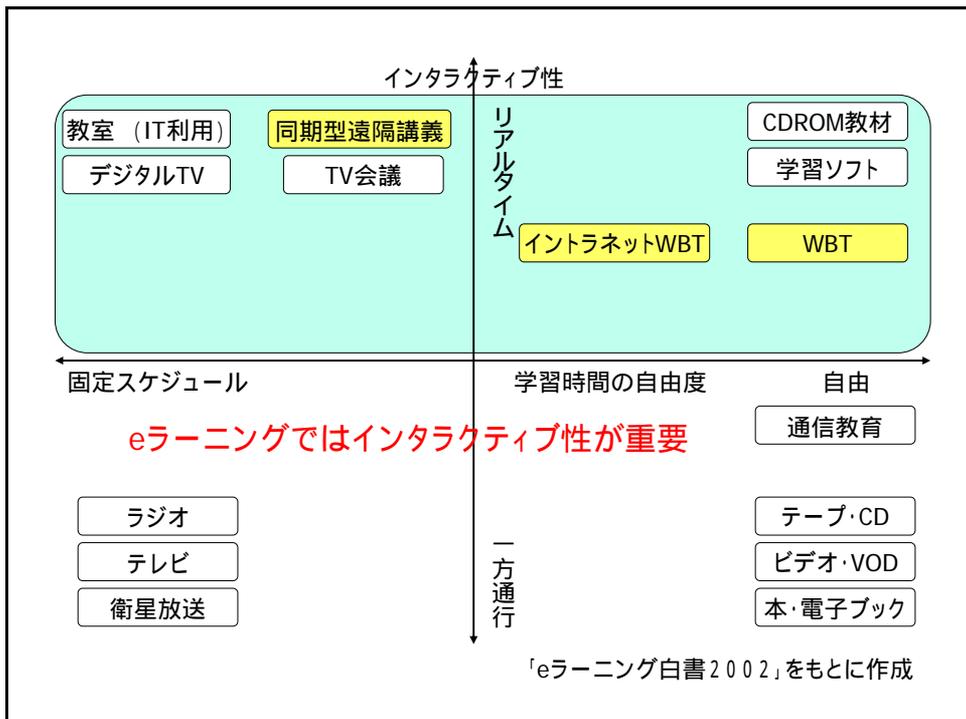
(計 366施策)



## eラーニングとは

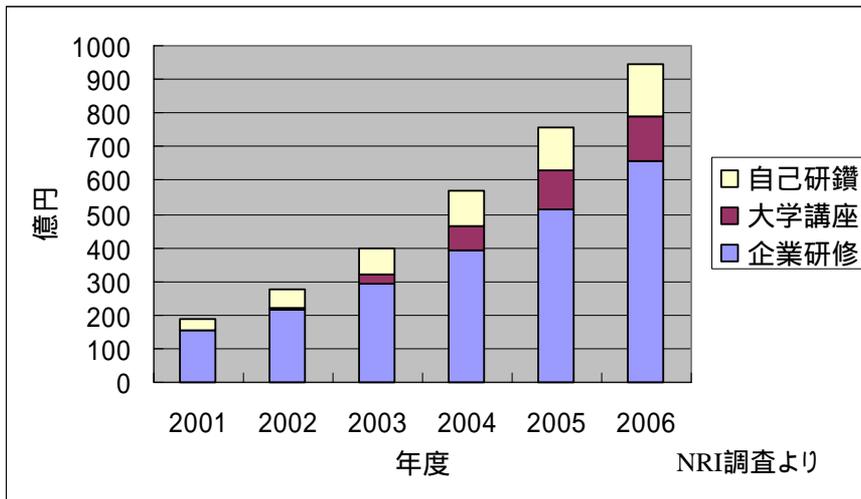
- **ネットワーク等を使った主体的な学習**  
主体的学習：従来の画一的なティーティングでなく、必要に応じて自ら「学ぶ」こと
- **学習者とコンテンツ間にインタラクティブ性があること**  
インタラクティブ性：人またはコンピュータから、学習を進める上での適切な指導が適時、与えられること

*any to any communications*





## eラーニングの市場規模予測



*any to any communications*



## eラーニングの特徴

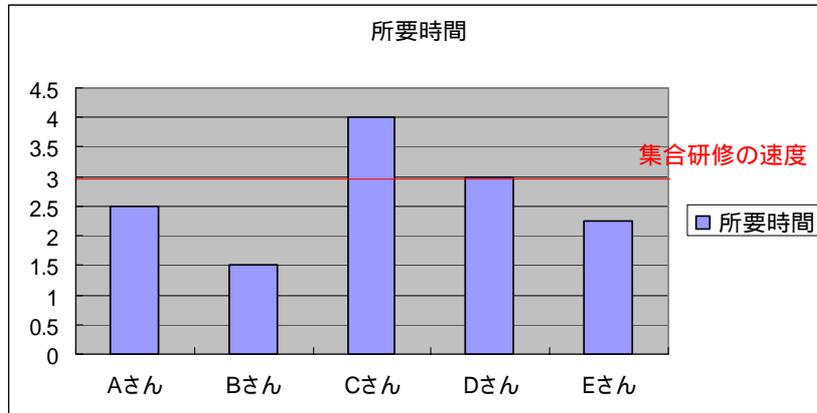
- 時間の制約なし      いつでも学べる
- 場所の制約なし      どこでも学べる
- 教育内容標準化      講師のレベル差なし
- インタラクティブ性      理解度・記憶度向上
- 多人数でコスト小      交通費、会場費不要

各人に適した速度で、必要な部分のみ学べる

*any to any communications*



## 各人のペースで学べる



*any to any communications*



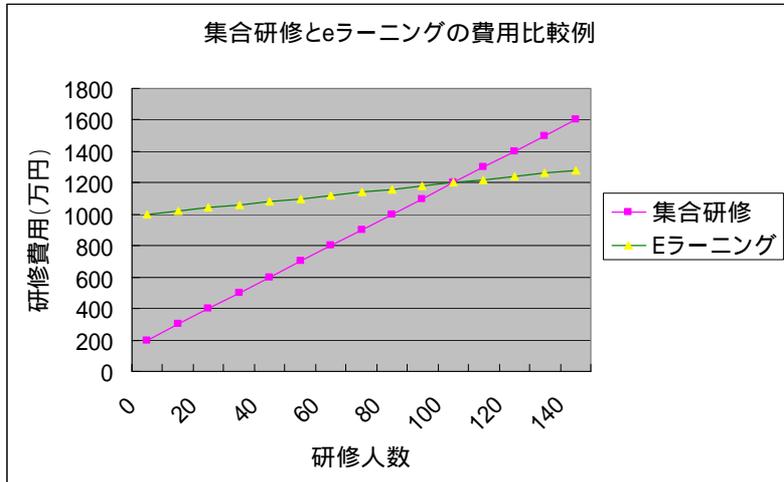
## eラーニングの欠点

- 時間や場所の制約なし
  - ➡ 後回しにされる、ある程度の制約要
- 教育内容、インタラクティブ性
  - ➡ コース設計、コンテンツの出来が重要
- 初期費用に比べ、増加コスト少
  - ➡ 少人数では逆にコスト高
  - オリジナルなコース設定は100名以上が目安

*any to any communications*



## eラーニングは多人数で有利



*any to any communications*



## 企業内教育研修の方向

- 全員画一から特定**個別**へ
- 経費から**投資**へ
- スピード経営を実現する**企業戦略手段**へ

事業再編	銀行の部門再編でのリテール部門研修
新製品	新薬についてのMR訓練
顧客教育	証券会社インターネット取引の顧客説明
営業教育	通信会社の電話対応訓練

*any to any communications*



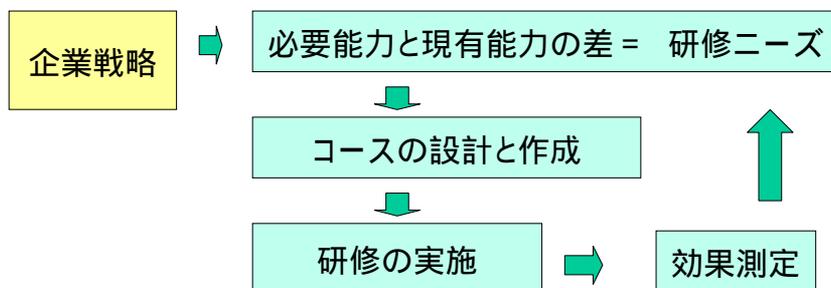
## eラーニングのポイント

- 企業戦略として実行する体制
- 仕組みや環境を考慮する
- 目的にあったコース設計をする
- ヒューマンタッチの要素をもたせる

*any to any communications*



## 企業戦略と体制

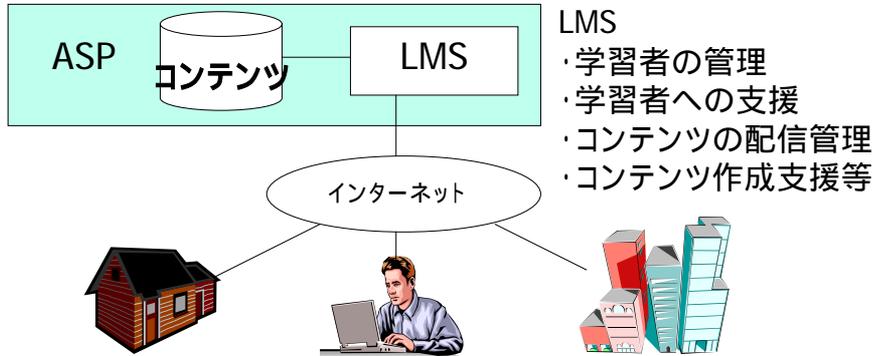


企業戦略に基づいて、PDCAサイクルを実施するシステム工学的アプローチが大事

*any to any communications*



## 仕組みと環境



ASP利用のメリット: 初期費用が不要、  
研修部門や情報部門の負担少

*any to any communications*



## 目的に合ったコース設計: ブレンディング



例: 顧客対応研修、機器の実習  
基礎的な知識・スキルをWBTで学習後に、集合研修で実習

*any to any communications*



## 五感に訴えて、理解度を高める

### マルチメディア

ナレーション

- ・眼を閉じて聴く
- ・聞き流す

静止画

- ・百聞は一見にしかず

ビデオ

- ・専門家の体験談

アニメーション

- ・実体験が不可能な環境

### インタラクティブ

ハイパーテキスト

- ・リンクの機能

クイズ

- ・遊びの要素

テスト

- ・復習や確認

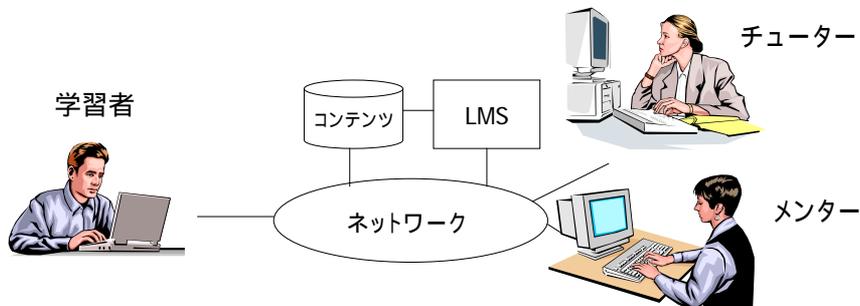
シミュレーション

- ・意図した失敗

*any to any communications*



## ヒューマンタッチの例



チューター： 学習者から質問があれば回答

メンター： 呼ばれなくても、一定期間ごとに学習者と連絡をとり、学習の進捗をサポート

*any to any communications*



## 企業でのeラーニングの例(米国)

シスコ	最前線の営業マンへの商品説明等、同システムを認定資格試験講座、顧客への製品説明に活用
IBM	社内研修をeラーニング化、2000年に研修コストを対前年比3.5億ドル削減と発表
GM	7千以上の系列ディーラー、営業マンにWBTで新型車やアクセサリーの知識を伝授
GE	UNext社と提携し、社員向けにeラーニングによるMBAプログラムを提供

「eラーニングの常識」(森田著、朝日選書)等をもとに作成

*any to any communications*



## 企業でのeラーニングの例(日本)

日本IBM	97年に新人研修から導入開始、その他の部門にも展開
日本マクドナルド	全国13万人の従業員教育にeラーニングを導入 3千ページのマニュアルをWEBに
キャノン	デジタル技術者養成のため、技術者研修にeラーニングを活用
トヨタ	2001年に販売店店長むけ開始。2002年、トヨタグループ全体に「トヨタインスティテュート」と呼ばれるコーポレートユニバーシティを開設

「eラーニングの常識」(森田著、朝日選書)等をもとに作成

*any to any communications*



## 学校教育への適用

eラーニングは

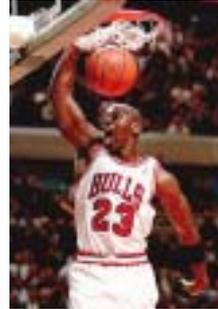
- 知識伝達型にはいい
- 個別での学習が可能
- 遠隔地でも学習ができる
- 多人数・大規模になると有利



学校の役割が変わる。

(共同生活、発表、ディスカッション)

*any to any communications*



教育のマイケルジョーダン化  
(大前研一氏)



## 大学の動向

- MIT: 昨年、ほぼ全ての講義内容(2千コース)を今後10年間、無償で公開すると発表
- フェニックス大学: オンライン教育を95年にeラーニング(WBT)に移行、ネットならではの教授法、チャット、チューター、課題達成型
- わが国: 慶応、早稲田などが先行、遅れて国立大学も

*any to any communications*



## 大学の動向 (学位の取得)

- 通学が難しい社会人の学位取得が容易に。
- フェニックス大学: eラーニングのみで学位取得できる。(会計学、経営学、IT、教育学など) 全学生の3分の1にあたる5万人が社会人のオンライン大学生。
- 一般に受講料は通学に比べ高め。ただ、フェニックス大学では、学部年間授業料はeラーニング1万ドルで通学(2万ドル)より安い。

*any to any communications*

## MIT (OCW) の例

MIT OPEN COURSEWARE  
MASSACHUSETTS INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Welcome to MIT OpenCourseWare, a free, open, publication of MIT course materials. We invite you to join all the courses available at the time.

SEARCH

Search:  [GO]

AVAILABLE COURSES

Find individual course listings on the following MIT OCW Department pages, or visit a specific course list:

- Arts and Sciences
- Architecture
- Chemistry
- Earth and Atmospheric Sciences
- Engineering
- Life Sciences
- Mathematics
- Physics
- Public Health
- Robotics
- Social Sciences
- Visual Arts

GETTING STARTED

MIT and the OCW team welcome you to the pilot site of MIT OpenCourseWare. This initiative supports MIT's fundamental mission – to advance knowledge and education to best serve the nation and the world.

MIT OpenCourseWare is a...	MIT OpenCourseWare is not...
• A publication of MIT course materials	• A degree- or certificate-granting program
• Free and open to the world.	• An MIT education

MIT OPEN COURSEWARE RESOURCES

**FAQs:** Find answers to your questions about MIT OCW.

**Newsletter:** Register for our monthly email newsletter, The MIT OpenCourseWare Update.

**Legal Notices:** Course materials are made freely available under the terms defined to MIT OCW.

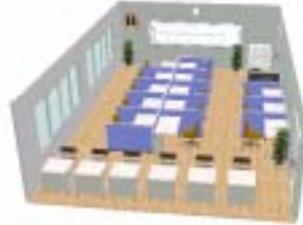




## 学校余裕教室の自習室活用の試案

項目	案
開放日	当初は土日、夜間・平日に拡大
利用者	地域住民、当該学校の児童生徒
施設整備	地域ニーズ、学校環境に配慮、ゾーニング レイアウト、内装、電源、空調、LAN、インターネットの接続 コンテンツへのアクセス制限
運営	PTAやNPO、学校による委員会
その他	利用料金の設定 自治体や地元企業の支援

子供の学習塾、社会人の資格取得の学校、図書館での学生利用等から自習室のニーズは高い。



レイアウト例

*any to any communications*



## まとめ

- e-Japan計画等で eラーニング普及が加速
- 企業は企業戦略の手段に
- 学校も変わる
  - 高等教育 - 生き残りや差別化
  - 初中等教育 - 学校の役割が変化
- ヒューマンタッチが大事
- 地域での生涯学習振興や雇用創出の可能性

*any to any communications*